

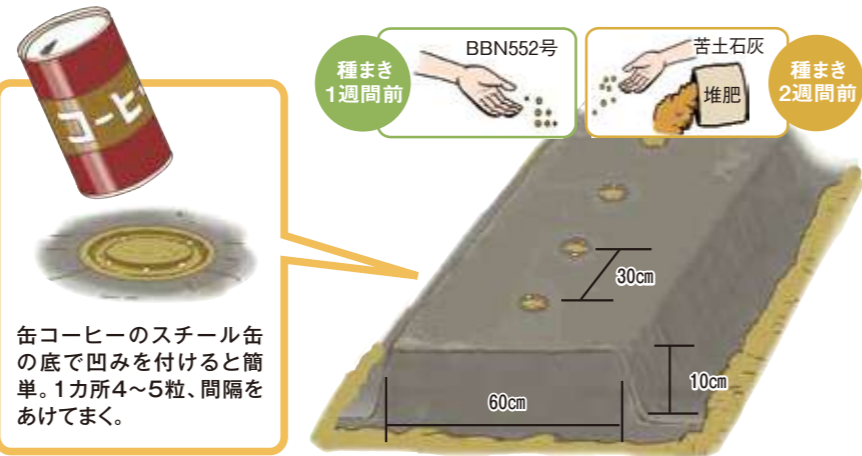


お勧めします。

1 回目の間引きは本葉が2〜3枚のころに行い、左右の双葉の大きさがそろった苗を2本残します。2 回目は本葉が5〜6枚のころに1本にします。2 回目の時は根が絡んで全部抜けてしまうことがあるので、はさみを使った間引きをお勧めします。



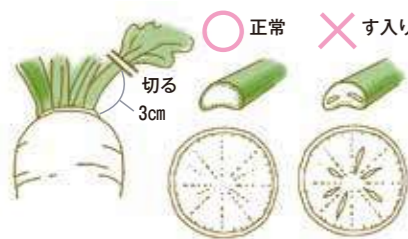
間引き・追肥



缶コーヒーのスチール缶の底で凹みを付けると簡単。1カ所4〜5粒、間隔をあけてまく。

種まき 1週間前 BBN552号
種まき 2週間前 苦土石灰 堆肥

す入り診断



葉の付け根を切ってみて断面に「す」が入っているなら、根にも「す」が入っている。

栄養も豊富。色んな料理に活用しよう!

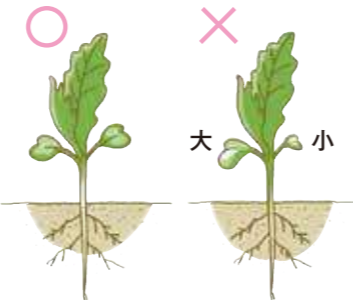


夏どりは播種から50〜60日、秋どりは60〜80日が収穫の目安ですが、外葉が開いて垂れるようになってきたら収穫期です。収穫が遅れると「す」が入ってしまうので注意しましょう。葉の付け根を切ってみて、断面に空洞があればダイコンにも「す」が入っています。



収穫

残す苗の判断目安



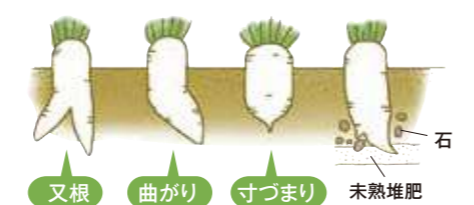
葉の大きさがそろっているものを残す

2 回目の間引きの後、マルチを少し剥いで肩の部分に追肥をして、軽く土寄せして戻しておきます。



栄養

ダイコンの奇形根の発生



土の中に異物(石ころ、未熟堆肥など)がある時、または下層土が硬い場合、幼苗期の害虫、風害などにより、又根・曲がり・寸づまりなどになる。

おすすめ資材

「ヤケーヌ爽クール」1,980円(税込)

日焼け防止専用UVカットマスク。首もすべて覆うので首の日焼け対策もばっちり!夏は水に濡らせば気化熱利用でさらに冷感。息苦しくないの、農作業はもちろん、お散歩やスポーツにもおすすめです。色は「ベージュ」「ライトグレー」「ネイビー」があります。

◎お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までどうぞ。
※店舗によってはお取り寄せになる場合がございます。



ほうさくClub!に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

- ◎中央店 ☎29-8177
- ◎東部店 ☎62-0665
- ◎西部店 ☎22-4091
- ◎さなだ店 ☎72-9030
- ◎まるこ店 ☎42-2977
- ◎よだくぼ南部店 ☎85-2400
- ◎しおだ店 ☎39-8118



ほうさくClub!



第240回
今月は

「ダイコン」に挑戦!

★これがダイコンのスケジュールだよ。Calendar

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
						種まき	収穫		種まき	収穫	

- 施肥基準 (1㎡あたり・一例)
- 苦土石灰100g
- 堆肥3kg
- BBN552号100g
- BB追肥N30号20g×1回

文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類で対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。



それじゃあ さっそくダイコンに挑戦しよう!



上田地域の特産品として「うえだみどり大根」があります。満蒙開拓団が過酷な日々を生き抜く中で食べた「支那大根」。種を大事に上田に持ち帰り育ててきた中から、選抜したものがうえだみどり大根です。支那大根の原産は中国ですが、上田地域に根付いた「当地野菜」と言えるのではないのでしょうか。じつは支那大根は「ビタミン大根」などの名前で、全国で手に入る種です。しかし、大きくならず、形も揃いにくく、市場出荷には向いていないため、たぶん上田地域以外ではほとんど作られていないと思います。でもご存じのとおり、水っぽくなく歯ごたえがあり、甘みがあるので、大根おろしも漬物にも天ぷらにしてもとてもおいしい大根ですね。

真正正銘の伝統野菜である「山口大根」も同じようにして食べますが、辛みがあり、昔の電球のような特徴的な姿です。400年前から山口地区を中心に栽培されてきました。栽培者が一戸になつてきたのを地域の皆さんで復活させていることはよく知られています。大事にしたい地域の宝です。

支那大根も山口大根も、栽培の基本は通常の大根と同じです。

「大根十耕」というくらい、ダイコンづくりには深く丁寧な耕耘が大切です。定植の2週間前に苦土石灰と堆肥を、1週間前に化成肥料を撒いてよく耕しておきます。堆肥や肥料のかたまりがあると又根になりやすいので気を付けましょう。

畝幅は一条なら60cm、二条なら120cm、高さは10cmにします。株間は30cm、二条なら条間を45cmとります。畝がしっかり湿っているときにマルチを張ります。缶や瓶の底を押し付けて深さ1cm程度のへこみを作り、一穴に4〜5粒播いて土をかぶせて軽く押さえます。

種は季節に合わせて選びます。支那大根や山口大根は夏播きの品種です。夏播き品種を春に播くと、根が育つ前にトウ立ちしてしまいます。種袋をよく確認しましょう。

夏播きは特に害虫が多い時期の栽培となるので、種まきの際薬剤タイプの殺虫剤を使うのが安心です。防虫ネットを使うのも良いですが、たまに開けてみて害虫が付いていないか確認しましょう。



畑の準備・種まき